

# 春の火災予防運動

4月5日(日)～11日(土)

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少せさせるとともに、財産の損失を防ぐことを目的に行っております。

## 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

### 4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

### 6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストープやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する
- 4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

出典元:総務省消防庁

## 地震による電気火災対策を!

地震による電気火災対策を!

感震ブレーカーが効果的です!

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

電気関係 (58件) 54%  
その他 (50件) 46%

※日本火災学会「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

出典元:総務省消防庁

Q. 地震が引き起こす電気火災とは?

A. 地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことです。

Q. 感震ブレーカーとは?

A. 感震ブレーカーは地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

☆ 感震ブレーカーを設置して電気火災から「家」「地域」を守ろう!

## 林野火災にご注意を!

林野火災注意報・警報の運用が始まりました。

○林野火災注意報とは

空気が乾燥し、山火事が発生しやすい状態(数日間の降水量が極めて少なく、かつ乾燥注意報が出ているとき等)のときに発令されます。発令地域では、火の使用の制限について努力義務が課せられます。

○林野火災警報とは

注意報の基準に加え、強風が吹くなど、一度火が出ると大規模火災につながる危険が非常に高いときに発令されます。発令地域では、火の使用の制限(山林への火入れ、花火、たき火の禁止等)に違反すると、30万円以下の罰金または拘留に課せられる場合があります。

防火標語 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

《火災・救急・救助は119番》

能代山本広域市町村圏組合消防本部 予防課